

令和7年1月 定例教育委員会 会議録 要旨

1 日 時

令和7年1月23日（木）

開会 午前9時30分 閉会 午前10時37分

2 場 所

市役所西館 大会議室

3 出席及び欠席委員

出席者 大野教育長 荒牧委員 白木原委員 吉田委員 永野委員 梶原委員

欠席者 飯盛委員

4 会議出席職員

田中教育部長 秀島学校教育担当部長 西教育総務課長 於保保育幼稚園課長 空閑生涯学習課長 田久保文化課長 嘉村教育総務課副課長 南里保育幼稚園課副課長 土井教育総務課庶務係長

5 傍聴者

0名

6 教育長の報告事項

- ・1月10日に庁舎から撮影した雪で覆われた天山の写真を資料に載せている。昨今の異常気象等はあるが、このような自然の美しさ、雄大さ、日本の四季を改めて感じ、今年一年頑張らないといけないと気持ちを新たにしたい。
- ・この冬はインフルエンザが流行しているが、小中学校では大きな広がりは見られず、1学級が学級閉鎖となっただけである。しかし、まだ油断は禁物で感染防止対策はしておく必要がある。また、今年は地震も気になる問題で、日向灘地震や南海トラフ地震への不安がある。さらに、火事についても、国内外での大規模な火災のニュースが多く、身近な場所でも火災が発生しているため注意が必要である。
- ・令和6年は、国スポ・全障スポだけでなくスポーツ、芸術、芸能等を通じて「する」、「観る」、「支える」ことが様々な面で活力を与えるものだと感じた1年だった。特に、スポーツや文化を支える人々の存在が大切だという教訓を国スポ・全障スポで得ることができた。「支える」ということを今年1年のキーワードの1つにしたい。また、終戦80年を迎えるにあたり、戦争の人権侵害という観点から平和について考える重要な節目であると思っている。
- ・令和7年が始まって約3週間が過ぎた。江里口市長は執務始め式で「不易流行」という言葉を1年のスタートに書いたという話をされた。長年のまちづくりの中でもこの言葉を大切にしてきたし、経験を踏まえてこれからも大切にしていきたいという内容の訓示を述べられた。私もその考えに共感し、不易と流行の両面をしっかりと頭の中に入れておかねばならないと思っている。
- ・小城市は今年3月に市制20周年を迎える。この20年で教育分野でも大きな変化があった。近年のコロナや自然災害を含む環境の劇的な変化に対し、教育や保育の役割が重要であることを再認識した。この20年間を振り返り、今後の子どもたちが厳しい社会を生き抜く力を育むための教育の在り方を考える時期にきている。

- ・教育に携わる者として、原点に立ち返り、チームで協力して人づくりに努める重要性を感じている。「城創伝心」という基本目標のもと、子どもたちや大人を支え合い、笑顔で成長できる１年になればと思っている。
- ・１月６日 執務始め式、経営戦略会議
- ・１月７日 東部教育事務所長面談（～８日）
- ・１月８日 第３学期始業、当初予算勉強会
- ・１月９日 課長副課長会議、当初予算市長査定
- ・１月１０日 部落解放同盟佐賀県連合会２０２５年旗びらき
- ・１月１２日 小城市二十歳の式典
- ・１月１５日 定例小中学校長会、小城市健康づくり推進協議会③
- ・１月１６日 私立高校前期入試、第２回教育委員会佐賀県連絡協議会、市町教育長会連合会役員会、令和６年度佐賀県ＩＣＴ活用教育推進協議会②
- ・１月１７日 東部教育事務所管内教育長会・教育長協議会①
- ・１月１８日 元寇７５０年特別講演会「肥前千葉氏の本拠と地域支配」
- ・１月２０日 総合教育会議、県立学校教育懇話会
- ・１月２１日 議員勉強会、就学前園児交流会
- ・１月２２日 課長副課長会議、市長表敬訪問（ひらまつ病院陸上部）
- ・１月２３日 定例教育委員会、小城市青少年育成市民会議常任理事会④
（以下予定）
- ・１月２４日 東部教育事務所管内教育長協議会②
- ・１月３０日 私立高校後期入試
- ・２月４日 県立高校特別選抜入試
- ・３月４、５日 県立高校一般選抜入試

【質問・意見】

なし

【結果】

承認

7 議 事

第１ 議決事項

【会議録】

教育委員会の会議録について（公開）

【質問・意見】

◇Ａ委員

要旨の３ページ、８行目「毎月、教育長報告として共有していただき」を「共有させていただき」に、全体会議録７ページの下から７行目「携わっておられる」を「携わっている」に修正をお願いしたい。

【結果】

承認

【議案第１０号】

令和７年度小城市教育の基本方針について

◇教育総務課長が説明

提案理由は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第２５条第２項第１号の規定により承認を受ける必要があるため。

令和6年度からの変更点は2点。

1点目は、重点目標が8つから7つになっている。令和6年度は「SAGA2024国スポ・全障スポを機にスポーツを通した生活習慣づくり」という目標があったが、今年度、無事にSAGA2024国スポ・全障スポが終了したため、令和7年度はこの目標を削除している。

2点目は、重点目標の2つ目、「ICT活用教育の充実」の前に「学校施設の整備と」を追加している。これは、令和6年度に学校教育施設の個別施設計画の改定を行い、令和7年度から11年計画で学校教育施設の整備を進めていくため、この文を追加している。

【質問・意見】

◇C委員

一番下の「毎月10日を「いじめ防止、心を考える日」」について、いじめによって命を絶つ子どもたちもいるという意味では、いじめ防止、「命」も入れていただきたいと思った。

◇教育長

この意見を基に、今後どういう修正をしていくのか、きっかけにしていきたいので、ご意見としてお聞きしていきたいと思う。

◇E委員

私も同様に、「心を考える」の「心」とはとても漠然として難しいなと思った。検討していただくとするのであれば、この「心」のもう少しかみ砕いた中身というものを私たちが持っておくべきだと思った。

◇教育長

修正を前提に検討じゃなくて、もう一回考えて検討するということでご意見を伺いたいと思う。今、のぼり旗を毎月10日に掲げて情報発信しているが、それが浸透している部分もあるので、私たちの施策としてのもの、または考え方としてのものをもう一回考えるべき意見として検討していきたいというふうに思っている。

【結果】

承認

第2 報告事項

【報告第34号】

小城市民図書館三日月館の臨時休館について

◇文化課長が説明

報告理由は、小城市民図書館条例施行規則第7条の規定に基づき、臨時休館をするため。

休館の理由は、特別整理及び小城市生涯学習センターの大規模改修工事に伴う小城市民図書館三日月館の床張り替え工事を行うため。

休館の期間は、令和7年2月1日から6月30日までとしている。なお、工事の進捗により臨時休館期間の変更の可能性もある。

周知については、12月末から、館内に休館する旨のポスターやチラシの掲示、設置と来館者への説明、市報の1月号、2月号において休館の案内等をしている。

【質問・意見】

なし

【結果】

了承

8 その他

(1) 教育委員会の共催及び名義後援事業について

◇教育総務課庶務係長が説明

- ①佐賀県人権・同和教育研究協議会「第2回人権・同和教育・啓発に関する研修会」、「第8回人権・同和教育推進に関する研修会」後援申請
- ②小城ウインドアンサンブル「第30回グリーンコンサート」後援申請
- ③佐賀県音楽教育研究会「令和7年度全日本音楽教育研究会全国大会佐賀大会（総合大会）」、「第66回九州音楽教育研究大会佐賀県大会」、「第26回佐賀県音楽教育研究大会佐賀・小城・多久地区大会」後援申請
- ④一般社団法人日本中小企業DC支援協会「子どもの将来を考えるマネー講座」後援申請
- ⑤フォトクラブ三脚うしづ「第11回フォトクラブ三脚うしづ写真展」後援申請
- ⑥小城市文化連盟「小城街道ひなまつり～山から海までひな景色～」後援申請
- ⑦みらいの学びフェスティバル製作委員会「ワークショップコレクション ゲームプログラミング・おしごと編」後援申請

以上、後援7件承認で報告する。

【質問・意見】

◇E委員

2件目の小城ウインドアンサンブルで、開催期間が承認日から4月27日となっており、コンサート自体は4月27日となっている。掲示とかをされているためか。

◇教育総務課庶務係長

開催期間は本来、行事の開催日を記入いただくところだが、広報される際のチラシ等の記載について、承認日から開催をされる4月27日までしたいという意味で書かれていると思う。開催日は4月27日である。

◇C委員

市報等でコンサートとかチェックをしているつもりだが、この後援事業で知った団体や行事もある。先日の総合教育会議の部活動の地域連携の話の中で、主に体育系の部活のことで協議をされたが、子どもにしても大人にしてもやっぱり音楽のある町はとていいなと思う。だからコンサートの回数を増やすとか、みんなが音楽に触れる機会が増えるようになればいいなと思った。

◇教育長

教育委員会の事業としてどうしていくかということは検討させていただくが、ご意見としてお聞きしたいと思う。

【結果】

了承

(2) 令和7年小城市二十歳の式典参加状況について

◇生涯学習課長が説明

1月12日、日曜日に令和7年小城市二十歳の式典を執り行った。式典については、今年も滞りなく無事に終えることができた。

令和7年の式典の参加予定者総数503人のうち、実参加者数383人、76.1%の参加率で、昨年より微減した。小城と三日月の参加率が極端に違っているが、理由は住所地と参加の会場が違っている方がいたためである。

また、来賓については、市議会議員、県議会議員、各町の区長会長、副会長に案内したところ、4会場で31名の方にご臨席いただいた。

【質問・意見】

◇C委員

私は牛津会場で二十歳の式典に参加させていただいた。大きな問題もなく滞りなく式は終わった。

参加人数の把握について、対象者に案内をした後、人数の把握ができないと思うが、会場設営とかの準備等は去年の参加者数を参考に見込んで、会場の設営をされるのか。

◇生涯学習課長

参加者数については、まず11月1日現在の小城市に住所がある対象者の数を把握し、その後、式典の案内と同時に市外に転出した方々にホームページで案内をしている。参加の申込みは小城市内に住所がある方もない方も同じで、ホームページからウェブで参加の入力をしていただいている。申込みの締切りを12月の中旬ぐらいまでにしているので、そこで参加者数を確定している。

◇E委員

私は芦刈会場に参加した。芦刈会場でよかったなと思ったのは、二十歳の誓いの言葉で、ノリ養殖を後継者として頑張っていらっしゃる方のお話だった。それがとても芦刈らしくて、いい会だったなと思った。

資料の見方で、参加予定者数というのは小城市内に住民票がある方だと思うが、各会場の市内他町からの参加者というのは、例えば、三日月の方が小城に多く参加したというのは、校区とか、通学していた学校のほうに行かれたとか、そういう理由か。

◇生涯学習課長

参加予定者数の433人というのは、小城市内に住所がある方のことで市としても把握できていた人数である。その横の欄の市外からの参加者申込みというのが小城市内に住所がない方がウェブ等で申し込まれた分である。

それとは別に、右下のほうに、例えば、小城会場に三日月町から24人の参加というのは、恐らく三日月町に住んでいて小城町の小学校に区域外通学した三日月町の方々だったのではないかと思う。

牛津会場に小城町や三日月町から、また、芦刈会場に三日月町から1名参加されているのは恐らく転居などの理由ではないかと思う。

◇E委員

中学卒業時の子どもたちがどの程度、参加しているのかというのを知りたかった。

恩師の方が中学校の先生まで来られていたので、中学校を卒業したときの子どもたちがどの程度この会場に来ているのかというのが一つのバロメーターになるのかなと思った。町外や市外からの参加者というのは、中学校卒業後の市外転出などが理由だろうと思った。

◇教育長

ウェブでの参加の申込みは、以前にはなかった形である。例えば、小学校まではいたが、その後出てしまっていて離れたけど、二十歳になって会いたいという子でも参加を受け入れている。やっぱり二十歳の節目に会いたいというのは、恩師に会いたい、友達に会いたい、そこに行くという子どもたちの集まりの場じゃないかなと思っている。そこは二十歳になる方々の思いを大事にしながら、参加申込みを受け付けている状況である。

実行委員会形式でもやっているのだから、人数の大小あるが、ほのぼのとした式典になっていると思う。

【結果】

了承

9 次回定例教育委員会開催日程及び場所

◇定例会

【日 時】 2月20日（木） 午前9時30分から

【場 所】 小城市役所 西館2階 2－6会議室

10 議 事【非公開】

第 1 議決事項

【会議録】

教育委員会の会議録について（非公開）

【承認】

第 2 報告事項

【報告第 35 号】

就学援助の認定について

【了承】

【報告第 36 号】

教育委員会事務局職員の育児休業について

【了承】

【報告第 37 号】

教育委員会事務局職員の休職について

【了承】